

# 令和7年12月八幡平市定例記者会見

日時：令和7年12月3日(水) 午前11時～  
場所：八幡平市役所 大会議室

## 1 開会

## 2 市長挨拶・発表項目の説明

- (1) **「現地決済型ふるさと納税」を始めました**  
－ 市内で観光を楽しみながら、ふるさと納税する仕組みを整備 －
- (2) **八幡平市中干プロジェクトでCO<sub>2</sub>の排出を約400トン削減**  
－ プロジェクト初年度の取り組み実績をお知らせします －
- (3) **令和8年消防出初式を開催します**  
－ 消防団員が、市民の安心安全を守る心意気を示します －
- (4) **田山スキー場安全祈願祭(スキー場開き)を行います**  
－ ウィンタースポーツの核施設として、選手育成や雪に親しむ環境を今年も提供 －
- (5) **各種スキー大会の日程をお知らせします**  
－ さまざまな種目に対応した良質なスキー環境で選手をお迎えします －
- (6) **厳冬の荒行に女性も挑む伝統行事「裸参り」が行われます**  
－ 平笠地区・松尾寄木地区それぞれで、無病息災を祈り、地区を練り歩きます －

## 3 質疑応答

## 4 その他

## 5 閉会

※ 次回の定例記者会見

日時：令和8年1月7日(水) 11時00分から

場所：八幡平市役所3F 大会議室

プレスリリース

# 「現地決済型ふるさと納税」を始めました

市内で観光を楽しみながら、ふるさと納税する仕組みを整備

## 【発表の要旨】

市は、株式会社 DMC aizu が運営する現地決済型ふるさと納税サービスである「ふるさと応援納税<sup>®</sup>」を活用し、旅行等で本市を訪れた方々が、ふるさと納税を通し、地域を応援することができる現地決済型ふるさと納税を始めました。

現在、市内5施設の事業者に加盟いただいております。うち3施設がサービスを開始しています。

今後も市内事業者に協力を得ながら、利用可能な施設を広げていき、ふるさと納税の利用者を増やす取り組みを進めます。

1 サービス名 ふるさと応援納税<sup>®</sup>

## 2 サービス内容

「ふるさと応援納税<sup>®</sup>」は、観光客が、旅先からスマートフォンでふるさと納税を行うことができる新しい仕組みです。

手続きはおよそ5分で完了し、寄附すると、その場で返礼品として電子クーポンを受け取ることができます。このクーポンは、滞在先の宿泊施設や地域の加盟店で、宿泊代や飲食代などとしてすぐに利用できるため、地域を応援しながら旅行を楽しむことができます。

3 運営会社 株式会社 DMC aizu

4 市内加盟施設 5施設（11月26日現在）

## 5 利用開始状況

11月中旬に取り扱いを始めた「四季館彩冬<sup>さいとう</sup>」を皮切りに、市内のふるさと応援納税<sup>®</sup>加盟施設のうち、3施設では既にサービスの利用を開始しています。

### 加盟店

- ・安比八幡平の食の宿 四季館彩冬
- ・いこいの村岩手温泉ホテル
- ・八幡平ハイツ
- ・ANA インターコンチネンタル安比高原リゾート（準備中）
- ・ANA クラウンプラザリゾート安比高原（準備中）

詳細は下記 QR コードから確認してください。  
※サイト内の「加盟店一覧」から確認できます。



### 株式会社 DMC aizu

(株) I S ホールディングスの100%子会社で、リゾート施設運営、発電、地域DX推進支援、DMOなどを手がける。

福島県猪苗代町の猪苗代スキー場の運営なども行っている。

### ふるさと応援納税<sup>®</sup>

(株) I S ホールディングスの登録商標

### 【担当】

企画総務部企画財政課

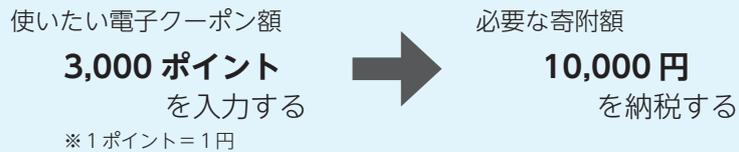
行政経営係 佐々木 芳輝

電話 0195-74-2111（内線 1208）

## ふるさと応援納税の主な流れ

- 1) 会員登録※初めて利用する方は会員登録が必要です。
- 2) 対象施設に設置している寄附用 QR コードを読み取り、滞在先の施設で、支払いたい（使いたい）電子クーポンの金額を入力し、必要な寄附額をクレジット決済で納税します。  
※電子クーポンの金額を入力すると、寄附額が自動で計算されます。

### 例



- 3) 会計時にふるさと納税で支払う旨を申し出ます。
- 4) 支払い用の QR コードを読み取り、使用金額を入力することで、宿泊代や飲食代の全部もしくは一部に電子クーポンを使用することができます。

## 八幡平市公式ふるさと納税応援キャラクターを紹介

本市の現地決済のような新たな取り組みや、これまでのふるさと納税の取り組みが、皆さまから親しみやすいものになることを目指して、八幡平市公式ふるさと納税応援キャラクターとして「どらごん瞳ちゃん」が誕生しました。

今後、ふるさと納税の取り組みはもちろんのこと、「物産振興」や「シティプロモーション」など幅広い場面での活躍を想定しています。

### あい どらごん瞳ちゃん



### プロフィール

好奇心旺盛で、新しい発見や人との出会いを大切にする。  
新しい発見や何かに気付いた時の口癖は「開眼んんん！」  
温厚で優しい性格。誰とでもすぐに仲良くなれる。



## プレスリリース

2050年ゼロカーボンシティの実現を目指す

# 八幡平市中干プロジェクトでCO<sub>2</sub>排出を約400トンを削減

プロジェクト初年度の取り組み実績をお知らせします

### 【発表の要旨】

「2050年ゼロカーボンシティ」の実現を目指す本市では、今年度から、地域の農家が参加する「**水稻栽培における中干し期間延長**<sup>(\*)</sup>」による**J-クレジット**<sup>(\*\*)</sup>創出に着手。プログラム型プロジェクト<sup>(\*\*)</sup>「**八幡平市中干プロジェクト(2025年9月認証)**」を立ち上げ、カーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミー(循環経済)の推進を進めてきました。

この取り組みによる今年度のCO<sub>2</sub>削減量の実績(見込み)は約400トンとなりましたのでお知らせします。

市は来年度以降の農家への参加を促すため、説明会を開催し、引き続き温室効果ガス削減を促進していきます。

## 1 7年度の実績

- ①参加農家数: 7経営体(うち法人3経営体)
- ②対象水田面積: 約100㌦  
※市内の7年度の水稲作付面積2,400㌦の4.1%
- ③取り組み初年度となった7年度のCO<sub>2</sub>削減量: 約400トン(メタンガス換算: 16トン)

### メタンガス

化学式CH<sub>4</sub>で表される、炭素と水素からなる最も単純な炭化水素の一種。地球温暖化の主要因の一つである強力な温室効果ガスでもあり、自然界や人間活動によって発生します。

### メタンガスのCO<sub>2</sub>削減量換算

二酸化炭素(CO<sub>2</sub>) 1トン=メタンガス(CH<sub>4</sub>) 0.04トン  
7年度の取り組みによるメタンガス削減16トン=CO<sub>2</sub>排出削減量約400トン

## 2 今後(9年度)の目標

- ①対象水田面積: 500㌦(市内水田作付面積の1/4)
- ②CO<sub>2</sub>削減量: 約2,000トン(メタンガス換算: 80トン)

## 3 Jクレジット取引価格

日本取引所グループ(JPX)カーボン・クレジット相場  
Jクレジット 農業(中干し期間の延長) 5,374円/トン(11/25現在)

### ※1 中干し期間延長とは

水稻栽培で、7月下旬からお盆前まで、水田の土壌内水分を減少させるために、田から水を引き、田を乾かす、水管理の技術です。

「中干し」の実施期間を従来よりも延長することで、土壌からのメタンガス排出量を抑制することができ、J-クレジットの創出方法として認められています。

### ※2 J-クレジットとは

省エネ設備の導入や再生エネルギーの活用等、事業者による脱炭素活動により得られたCO<sub>2</sub>等の温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証したものの。

発行されたクレジットは他の企業等に売却することで、購入者はカーボン・オフセットに活用することができる。

### ※3 プログラム型プロジェクトとは

複数のCO<sub>2</sub>削減・吸収活動を取りまとめ、1つのJ-クレジット創出プロジェクトとして登録する形態のこと。

単独ではプロジェクト登録が非現実的な小規模の削減活動も、取りまとめることでJ-クレジットを創出することが可能となる。

### 【参考】人の活動から排出されるCo2

CO<sub>2</sub>: 320kg/年= CH<sub>4</sub>: 13kg/年

### 【担当】

産業建設部農林課

課長補佐 高橋 潤

電話 0195-74-2111 (内線 1331)

申込不要

# 八幡平市中干プロジェクト 説明会

日時

令和7年12月15日（月）

時間

1回目 午後1時30分～午後2時30分  
2回目 午後3時～午後4時  
※どちらも同じ内容です

場所

八幡平市役所 大ホール

水田中干しを7日間延長すると、地球温暖化防止になり、クレジット売買による収入を得ることができます。

## 内 容

「八幡平市中干プロジェクト」って何？  
プロジェクト参加方法について  
提出書類について など

八幡平市中干プロジェクト

# 令和8年消防出初式を開催します

消防団員が、市民の安心安全を守る心意気を示します

## 【発表の要旨】

令和8年の年頭に当たり、市民の生命と財産を守る消防団の使命を再確認するとともに、消防団員としての決意を新たにすることを目的に、令和8年八幡平市消防出初式を実施します。

- 1 開催日時** 令和8年1月4日（日）  
午前10時40分・・・分列行進（八幡平市役所前）  
午前11時00分・・・式典（八幡平市役所大ホール）  
式典終了後・・・祝賀会（八幡平市役所多目的ルーム）
- 2 会場** 八幡平市役所
- 3 参加人員**  
八幡平市消防団 約400人  
八幡平消防署 約50人

### 【担当】

防災安全課 消防防災係

主任 柳澤大輔

TEL：0195-74-2111（内線：1263）

写真は、市役所前で開催した  
令和6年1月7日の様子



プレスリリース

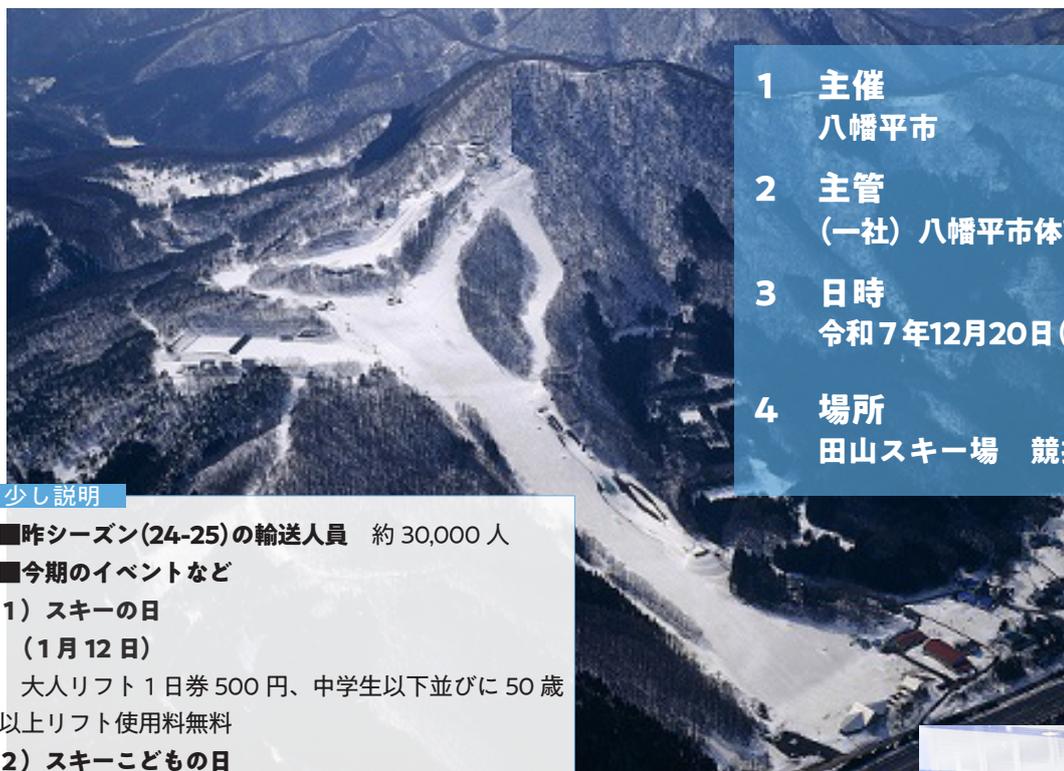
# 田山スキー場安全祈願祭(スキー場開き)を行います

ウインタースポーツの核施設として、選手育成や雪に親しむ環境を今年も提供

## 【発表の要旨】

田山スキー場の2025～2026シーズンの安全と円滑な運営、多くの来場者を願って、12月20日(土)に安全祈願祭を実施します。

オープンは、積雪状況にもよりますが12月21日(日)を予定しています。



- 1 主催**  
八幡平市
- 2 主管**  
(一社) 八幡平市体育協会、八幡平市スキー連盟
- 3 日時**  
令和7年12月20日(土) 午前9時30分～午前10時
- 4 場所**  
田山スキー場 競技センター

### 少し説明

■昨シーズン(24-25)の輸送人員 約30,000人

■今期のイベントなど

1) スキーの日

(1月12日)

大人リフト1日券500円、中学生以下並びに50歳以上リフト使用料無料

2) スキーこどもの日

(12月21日、1月18日、2月15日、3月15日)

中学生以下リフト使用料無料

3) その他

市内の小中学生を対象とした使用料の減免あり

■コース特性

最長滑走距離1300m、最大斜度37度



写真は、昨年行われた安全祈願祭の様子(令和6年12月21日)

### もう少し説明

JR花輪線田山駅から近く、リフト2基、全3コースの親しみやすいスキー場です。

リフト待ちがほとんどなく、レベルアップを目指している初中級の皆さんに最適。田山の雪山をそのまま楽しんでもらうため、圧雪車を入れずに深雪のままにしているコースもあります。ポールなどの貸出しもっており、レースに向けた練習が毎日可能です。(大会等開催日を除く)

ノーマルヒルジャンプ台、クロスカントリーコース、バイアスロンコース、夏季のエバースノージャンプ台、ローラースキーコースも備え、国体やインカレ、インターハイ、全中などの全国大会の会場としての実績も有するスキー場です。

## 【担当】

田山スキー場

副支配人 高橋 百合子

電話 0195-72-2111 (内線3111)

プレスリリース

# 各種スキー大会の日程をお知らせします

さまざまな種目に対応した良質なスキー環境を準備し選手をお迎えします

## 【発表の要旨】

八幡平市スキー大会実行委員会主管のスキー大会が以下の日程で開催されます。  
アルペン・クロカン・ジャンプ・バイアスロンの各競技会場が、比較的コンパクトに位置する「スキーのまち・八幡平市」で、今年も熱戦が繰り広げられます。

No.	大会名	期間	会場	備考
1	ガリウムカップ 第37回全日本公認田山クロスカントリー大会	1月5日(月) ～7日(水)	田山クロスカントリーコース	小学生・中学生・ 高校生・一般 【前年度参加者 316人】
2	第75回岩手県中学校スキー大会	1月9日(金) ～12日(月・祝)	安比高原スキー場 田山クロスカントリーコース 矢神飛躍台	県内中学生 【前年度参加者 133人】
3	第75回岩手県高等学校スキー大会	1月9日(金) ～12日(月・祝)	安比高原スキー場 田山クロスカントリーコース 矢神飛躍台	県内高校生 【前年度参加者 70人】
4	第66回岩手県スキー選手権大会 (NC種目)	1月9日(金) ～12日(月・祝)	田山クロスカントリーコース 矢神飛躍台	県内中学生以上 【前年度参加者 30人】
5	第78回岩手県民スポーツ大会スキー競技会	1月16日(金) ～18日(日)	安比高原スキー場 田山クロスカントリーコース 矢神飛躍台	中3・高校生・一般 【前年度参加者 370人】
6	公益社団法人日本バイアスロン連盟公認 第35回東日本バイアスロン選手権大会	1月30日(金)～ 2月1日(日)	田山ハイアスロンコース	一般 【前年度参加者 58人】

## 【担当】

市民部文化スポーツ課スポーツ振興係長  
清川智紀  
電話 0195-74-2111 (内線 1142)



取材は「第78回岩手県民スポーツ大会」の会場「安比高原スキー場」にて撮影。

## プレスリリース

厳冬の荒行に女性も挑む

# 伝統行事「裸参り」が行われます

平笠地区、寄木地区それぞれで、無病息災を祈り、地区を練り歩きます

### 【発表の要旨】

裸参りは、寒中に難行苦行し、神仏の加護を得て、五穀豊穡、無病息災、家内安全などを祈願する行事で、全国各地で行われています。

当市でも、平笠地区と松尾寄木地区で地域の伝統行事である「裸参り」が行われます。特に、平笠裸参りは、全国的にも例のない女性の荒行として知られています。

- 1 開催日
- 平笠裸参り：令和8年1月8日(木)  
寄木裸参り：令和8年1月16日(金)

- 2 スケジュール 下記のとおり

市指定無形民俗文化財

### 平笠裸参り

08:00  
神事 中平笠公民館  
09:00 ごろ  
行列出発 宮田神社  
  
大更八坂神社に  
向かいます



### 寄木裸参り

10:30  
神事 南寄木集落センター  
10:40 ごろ  
行列出発  
  
天照皇大神宮に  
向かいます



### 【担当】

市民部文化スポーツ課 生涯学習係  
主任 田中 美穂  
TEL：0195-74-2111（内線：1143）

市指定無形民俗文化財

## 平笠裸参り



平笠では、享保年間(1710年代)に岩手山が噴火し、「焼走り」をつくったが、これを恐れた村人たちが山の怒りを鎮め、安穏を祈願したのが始まりと伝えられています。

その後、戦時中に銃後を守った主婦たちが、夫や息子の武運を祈って行ったのが、「平笠女裸参り」の始まりであり、女性の荒行として全国的にも例のない珍しいものです(参考:西根町史)。

○市無形民俗文化財の指定 昭和56年3月25日(旧西根町指定)

引用: はちまんたい議会だより No.26 平成24年2月2日号



## 寄木裸参り

寄木では、享保年代(1716~)の数次にわたる岩手山の噴火を恐れ、これを鎮める祈願として始まったといわれます。市の指定無形民俗文化財である平笠裸参りと同時代と思われますが、創設年代などを特定できる資料は残っていません。現存する最古唯一の資料は、大正15(1926)年1月16日の参詣記念写真で、「南寄木裸体参詣講中一同」として参加者70人の名簿が添えられ、大神宮(通称・お伊勢さん)に保存されています。戦後は途絶えていましたが昭和57(1982)年、老人クラブや婦人会、青年会や消防団など地域の有志が中心となり、古老からの聞き取りや平笠裸参りを参考にして43年ぶりに再興され、現在に至っています。

引用: 広報はちまんたい No.165 平成25年1月10日号